

第2学年生活科学学習指導案

平成〇〇年 〇月 〇日
2年〇組 児童数〇〇名
指導者 〇〇〇〇

1. 単元名 「あしたへむかって」

2. 単元の目標

- 成長を振り返ることにより、自分ができるようになったこと、役割が増えたことなどがわかり、これまでの自分の生活や成長を支えてくれた人々への感謝の気持ちをもつ。
- 3年生での生活への期待や、これからの成長への願いをもち、意欲的に生活しようとする。

3. 単元の評価規準

生活科の評価規準

関心・意欲・態度	思考・表現	気付き
・自分自身の成長を振り返るとともに、これからの成長への願いをもち、意欲的に生活しようとしている。	・自分自身の成長を振り返るとともに、これまでの生活や成長を支えてくれた人々のことを考えたり、感謝の気持ちを表したりすることができる。	・多くの人の支えにより自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことがわかり、これからも成長していく自分自身に気付いている。

プログラミング学習の評価規準

論理思考力	プログラミングの技能
自分の小さい頃の写真や道具をスプライトとして動かし、成長の喜びや感謝の気持ちを考えて、プログラムを書いている。	自分の構成したプログラムの展開に沿って、背景や大きさ、効果音等を活用している。

4. 単元観（プログラミング学習との関連）

本教材は、以前の自分と比べ、「体が大きくなった」「一人でできることが増えた」「得意なことがある」など、自分の成長が実感としてわかり、それを支えてくれた人々の存在に気付き、感謝の気持ちをもつことができるようにすることや、これからの生活に自信や意欲をもって生活できるようにすることを目指している。この活動を通して、自分の成長を支えてくれた人々に感謝し、温かい気持ちで3年生への進級に希望をもち、意欲的に生活しようとする態度を育てていくことは、自立への基礎を養う上で大きな意義をもっている。

プログラミング学習は、自分の表現したい二次元的な対象物（スプライト・背景）に、より具体的な動きや変化（色・音など）をつけることのできる学習である。プログラミング学習を行うことで、自分の成長や将来の自分の姿をより具体的に、表現することができると思った。

5. 児童の実態

市民科「みんなのえがおがうれしいね」などで、家族の一員としてみんな、それぞれ大事な役割があることに気付く学習を行ってきた。その中で、家族に対する感謝の気持ちをもつことができた。生まれてから、ここまで成長してきたことに対して心の中で、感謝の気持ちをもっている子は多い。しかし、あらためて自分が成長してきた過程を振り返り、これからの自分の姿を考える機会は少なかった。今単元にて、これまでの成長を支えてくれた家族に感謝の気持ちを表現し、将来の自分の姿を想像する楽しさを味わわせたい。

また、プログラミング学習においては、これまで基本的なプログラム操作や、漢字の筆順（国語科）クイズ、かきこじぞうの続き話作りなどスクラッチを用いて作品を作ってきた。スプライトを動かしたり、背景の配色を変えたり、効果音を入れたりという簡単なプログラムを書くことができるようになってきている。そういう活動の中で、新しい発見があり、児童間での学び合いが生まれてきている。プログラミング活動への興味・関心は非常に高いといえる。

6. 研究主題に迫るための具体的な手立て

(1) 論理的思考力の育成

感謝のメッセージを作成するうえで、「いつ」「どこで」「だれと」「何をしたか・なにをしてくれたか」を順をまとめていく必要がある。時系列に沿ってエピソードをまとめ、感謝の気持ちを付けくわえながら、プログラムを作成させる。場面構成を考えながら、プログラムを作成することで論理的思考力を高めることができると考えた。

(2) 文化的創造力の育成

友だちと試行錯誤しながらメッセージ作りを行うことで、多種多様な表現があると気づき、創造することのおもしろさを感じ取らせることができると考えた。聴覚からの情報のみならず、画面を用い視覚からの情報と組み合わせる学習活動は、創造の幅を広げる一助になると考えた。

(3) コミュニケーション力の育成

友達同士との良いところ見つけを通して、それぞれの存在の大切さを感じるとともに、クラスの一員としての自覚が芽生えると考えた。またお家の人などからの取材を行うことで、自分の小さい頃の話を知るとともに、家族の愛情を感じることができると考えた。良いところ見つけと取材を通して、友達や家族からの感謝の気持ちや愛情をもち、自分自身を肯定的にとらえることができると考えた。また、自分の伝えたいことを明確にすることにより、話し合いの場での発言の意欲を高めることができ、コミュニケーション力の育成に繋がると考えた。

(4) 表現力の育成

ラズベリーパイにおいて、感謝の気持ちを言葉、絵、動作、等の方法により表現することで、多角的な表現力の育成が図れると考えた。また、クラスで発表の練習を設けることによって、互いの表現方法の良さに気づき、活用する機会が得られると考えた。

7. 学習指導計画（15時間扱い）

次	時数	学習内容	指導上の留意点	☆支援◇評価【評価方法】
1	1	○自分が赤ちゃんの頃のことへの興味をもつように、「どんなときにつかったのかな？」のクイズについて話し合う。	・教科書の写真や実物の玩具に着目させ、どんなときにつかったかを想起しやすいようにする。	◇自分自身の成長に関心をもつことができる。【発言】 ☆どの子にも幼いときがあり、これまでに成長してきたことに関心をもたせるようにする。
	2 3	○以前と比較してできるようになったことや得意になったことを考え、今の自分はどんな自分なのか考える。	・一人、一人、できるようになったことは違うことを確認する。 また、友達と比較するのではなく、以前の自分と今の自分であることを十分に押さえる。	◇以前の自分やできごとを振り返り、今の自分と比べて考えている。 【発言・ワークシート】 ☆クラスの中での役割、家での自分の立場や役割の変化、体の成長についてどのような変化があったかについて考えるよう助言する
	4 5	○友達のよいところや成長したところを考え、カードなどに書いて伝え合う。	・よいところ探しは隣同士のペアから始め、同じ班のメンバーについても同じようにカ	◇友達のよさや心の成長について考えたり、伝えようとしている。【発言・カード】

			<p>一で伝え合う。(さらに時間がある場合は、別のグループのメンバーとも交流してよい。)</p>	<p>☆これまでの班活動・クラス当番・係当番の記録などを掲示などから、自分が普段の学校生活において、友達からも支えられていることに気付くようにする。</p>
2	6 7 8	<p>○小さい頃に使っていた物や写真など、小さい頃の自分の手がかりを集め、家族やお世話になった身近な人などに、小さい頃のことを取材する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・写真や使っていた物を1点ずつ家庭からもってくる際に、各自、保管に気を付けるように指導する。 ・自身の取材メモの管理、及び学習の際に知れた友達の個人情報について、教室外に漏らさないように指導する。 	<p>◇小さい頃の自分について調べようとしている。【活動・ワークシート】</p> <p>☆小さい頃、幼稚園の頃、好きだった食べ物、遊び、絵本、お友達、性格や癖など調べる視点を与えるようにする。</p>
	9 10 11	<p>○昔と今の自分とを比べ、どんなことが成長したのかを考え、友達からのメッセージやお世話になった身近な人からの情報を基に自分の成長をまとめ、ラズベリーパイを用いて、感謝のメッセージを作成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長を、誰が、どこで、どのようにささえてくれたのか、分類して考える。 ・これまでラズベリーパイを用いて、作ってきた作品を想起し、スプライト、色、効果音などの工夫について確認する。 	<p>◇自分のよさや成長について振り返り、自分なりの方法で表現している。【作品】</p> <p>☆感謝の気持ちを表す言葉やそれを表現するための色・音、形などを考えさせるようにする。</p>
	12 本時	<p>○ラズベリーパイで作成した感謝の気持ちのメッセージを、互いに見合い、良いところを伝え合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人2分程度の発表を行い、友達の作品に対して温かい気持ちをもち、アドバイスするよう確認する。 	<p>◇成長を支えてくれた人に、感謝の気持ちを表そうとしている。【発表・スクラッチ作品】</p> <p>◇友達の発表のよさや、さらによくなるポイントを見つけることができる。【発言・ワークシート】</p> <p>☆発表する際の声の大きさや早さなども気持ちを表す効果があることを確認し発表させる。</p> <p>☆視点をもって発表を聞いたり、アドバイスしたりすることを伝える。</p>
	13 14	<p>○ラズベリーパイで作成した感謝の気持ちのメッセージを、お家の人に伝える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時のふり返りと、友達のアドバイスを参考に発表するよう確認する。 	<p>◇成長を支えてくれた人との関わりについて考え、感謝の気持ちを伝えている。【発表】</p> <p>☆感謝の気持ちを込めて発表することが大事であることを意識させる。</p>
3	15	<p>○今までの自分を振り返るとともに、自分になりたい3年生の姿を考え、話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生の教室に行き、3年生の様子を見て、感じたことを話し合いに生かす。 	<p>◇3年生の生活への期待をもって、これからの生活をしていこうとしている。【発言・ワークシート】</p> <p>☆教科・スポーツ・学校生活において、頑張りたいことや楽しみしていることを視点に、意見を出させる。</p>

8. 本時の学習（12 / 15時間）

(1) ねらい

- 成長を支えてくれた人に、感謝の気持ちを表そうとしている。
- 友達の発表のよさや、さらによくするポイントを見つけようとする。

(2) 展開

	主な学習活動	指導上の留意点	☆支援◇評価【評価方法】
導入	1. 今日の学習を確認する。	・自分のよいところや友達のよいところを探し、伝え合いより良い作品にしていく事を確認する。	
展開	2. めあての確認をする。		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 感しゃのメッセージを發表し、クラスのみんで アドバイスをし合おう。 </div>		
	3. 『発表する際のポイント』と『発表を聞く際のポイント』をそれぞれ確認する。	<発表のポイント> ・声の大きさ ・話す早さ ・表情 ・身ぶり・手ぶり <感謝のメッセージを聞くときの視点> ・感謝の気持ち ・幸せな気持ち ・勇気が感じられる気持ち ・がんばっている気もち	◇成長を支えてくれた人に、感謝の気持ちを表そうとしている。【発表】 ☆ 感謝の気持ちなど、自分の伝えたいことが強調されているかを確認する。 ☆ 発表する際の声の大きさや早さなども気持ちを表す効果があることを確認し発表させる。
	4. 一人ずつ発表を行い、発表の様子をワークシートに記録する。	※『発表のポイント』と『感謝のメッセージを聞くときの視点』を基に友達の発表の様子をワークシートに記録させる。	◇友達の発表のよさや、さらによくするポイントを見つけようとする。 【ワークシート・発言】 ☆ 自分の発表との違いや友達の発表を聞いて参考にしようと思ったポイントを発表させる。 ☆ アドバイスする立場として、友達の発表に対して視点をもたせて聞かせる。
まとめ	5. 振り返りをする。	・ワークシートを基に、友達のよいところや参考になったところを発表するようにする。	